

## 入選

### 生まれた環境と水

僕たちが住む日本という国では水道の蛇口をひねれば簡単に水が出てくる。そして、日本ではどこの水がきれいで美味しいかなどの評価があり、それによってその土地で作られる物や企業が変わったりしている。しかし、このように水を飲んだり、使ったりすることが当たり前になり過ぎて、水の大切さ、水の価値を忘れてしまっていると思う。

僕は、水は本来もっと大切に使うべきだと思う。水は、人間が生きていく上で絶対に欠かせないもので、無駄に流されるためにあるものではない。視点を変えて、世界的に見ると水道水が飲める国は、世界百九十六か国中、たったの十五か国と少ない。主な原因として、国土の面積やコスト面が問題となっている。そして、水道水が飲めない国や飲めるが水質が安定していない国では、主にペットボトルのミ

福島県立会津学鳳中学校 二年

高橋 たかはし

諒志 あきゆき

ネラルウォーターや市販の水を購入し、使用されている。この大量のペットボトルの使用によって地球温暖化を増進させてしまっている。さらに発展途上国では水道自体がない国や深刻な水不足に悩まされている国も少なくない。特にアフリカ諸国に集中している。そして、この国々では、毎日、学校も行かず子どもたちが池や川、湖、整備されていない井戸などから水を汲んでいる。毎日子どもたちが汲んでくる水は、安全な水ではない。だいたいは、泥や細菌、動物のふん尿などが混じっている。しかし、このような水でも飲まなければいけない。だが、この水によって毎日、八百人もの子どもたちが命を落とすってしまったている。このような環境は絶対に変えなければいけないと思う。世界中に安全な水を届けなければならぬと思う。このような人たちの力にな

るには、募金をするなどがある。しかし、一番大切なのは、その人たちのことを考えながら水を大切に使うことだと思う。水が簡単に手に入る環境に生まれたこと、安全で美味しい水を毎日飲む幸せなどをしっかりと感謝することが大切だ。

ここまで、日本人が水の大切さを忘れているなど書いてきたが、僕も例外ではない。皿などを洗うときにずっと水を出していたり、学校に持って行った水筒の残りのお茶をそのまま捨ててしまったりなど。やはり、意識して無駄使いたくないようにしているが、細かな所では無駄に使っている部分がある。これに関しては直そうと思っても少しは起こってしまうことだと思う。だから、水を使いすぎないようにしようという気持ちを持つことが大切だと思う。そうすれば、少しは減ると思う。これは僕の家での事だが、最近は洗い物の時に大きなボウルに水を入れ、そこに食べ終えた食器を入れ、しばらくして洗うという方法で洗い物をしている。水筒の残りのお茶は、夜ご飯の時に飲んだり、そのまま塾に持っていくなどしてお茶を飲み切っている。このようなさ

さいなことでも、毎日くり返したり、色々な家庭で行われれば、だんだんと水の使用量は減っていくと思う。「水がたくさんあるから使う」ではなく「みんなが使えるように最低限の量を使う」という意識に変わってほしいなと思う。

僕は今回の作文を書いたことで、改めて水不足の国のことや日本での生活がどれだけ楽かなどを知ることができた。僕は、生まれた場所だけで、学校に行けなかったり、危険な水を飲まなければいけないというのを無くせればいいと思う。そのために、水をもっと大切にして欲しい。